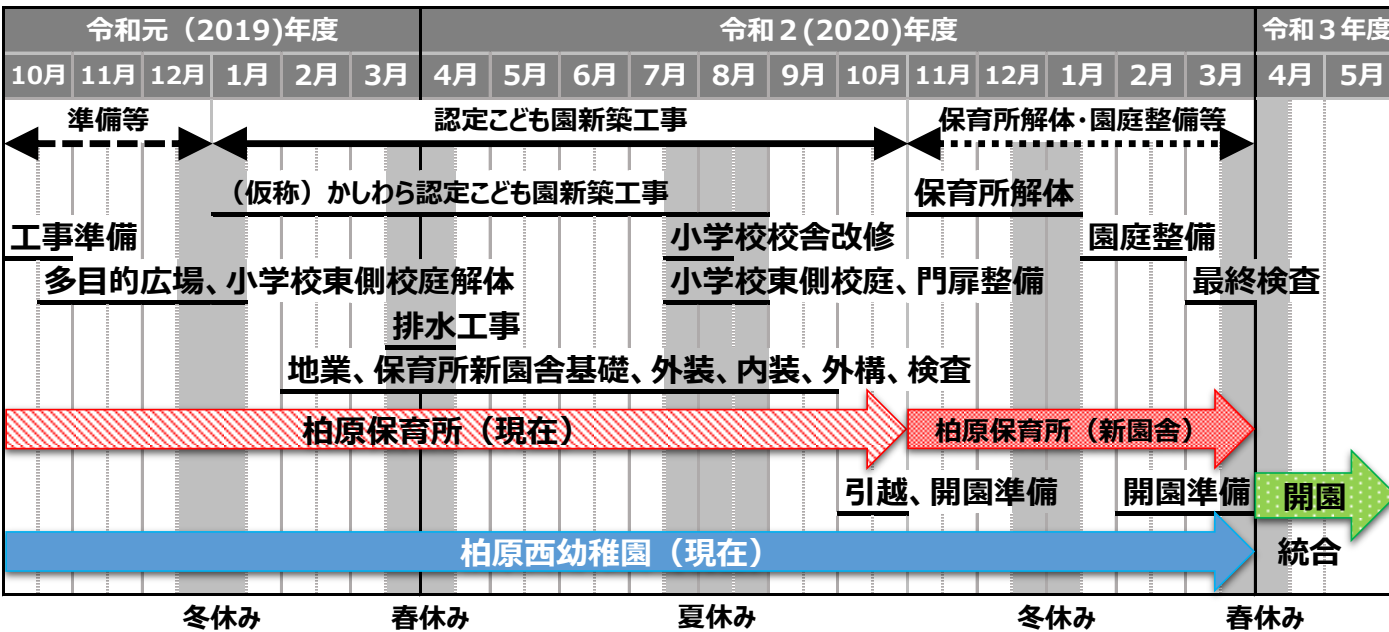


3. (仮称) かしわら認定こども園について

「(仮称) かしわら認定こども園」は、構想・設計後に保護者・住民向けの工事説明会を開催し、令和元(2019)年9月30日から令和3(2021)年3月26日までを工期として整備工事を開始しました。

新園舎完成後の令和2(2020)年11月頃に柏原保育所の引っ越しを行い、現園舎の解体・園庭等整備後、令和3(2021)年4月の開園を予定しています。

構造・規模：	鉄骨造 地上4階建	敷地面積：	1579.78㎡
建築面積：	479.61㎡	延床面積：	1247.94㎡
設計：	株式会社山田総合設計	施工：	株式会社三栄建設



4. 柏原市が目指す教育・保育と今後の展望

(1) 柏原市が目指す教育・保育と子育て支援

柏原市が今後整備していく認定こども園、既存の幼稚園や保育所では、以下を理念として教育・保育の提供及び子育て支援を実施していきます。

- ◆ 就学前の子どもの成長と発達に応じた教育・保育を一体的に行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。
- ◆ 子ども一人ひとりが、健やかに育つ環境を作る。
- ◆ 子育てに夢が持て、子どもが大切にされる環境を作る。

再編整備する認定こども園での具体的な運営内容等を含め、就学前児童のための幼稚園や保育所を運営していく上で取り組まなければならない事項を幼稚園教諭や保育士が中心となった柏原市教育・保育カリキュラム研究会等で研究・検討を続けています。

(2) 認定こども園への移行について

本計画【第1期修正】において再編が決定した施設以外については、再編に関して具体的な時期や場所等全て未定ですが、基本計画にあるとおり、「再編」を決定事項として今後も検討を続けていきます。

いずれの施設においても、再編の目処やある程度の予定が出来上がり次第、説明会等を開催し、基本計画での留意点等を踏まえ、柏原市の抱える課題を解決するために保護者や地域住民等の合意を得ながら再編を進めていきたいと考えています。

5. FAQ

(仮称) かしわら認定こども園や(仮称) たまた認定こども園、その他認定こども園に関するFAQ(よくあるご質問とその回答)は、市ウェブサイトでもご確認いただけます。

本計画【第1期修正】では、(仮称) たまた認定こども園に関するFAQの一部を掲載しております。

<柏原市ウェブサイト>

二次元コードから「認定こども園に関する情報」をご確認いただけます。

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/2017112400015/>



- Q 認定こども園となって施設の建替えはしないの？
- A 現在のところ、建替え等の予定はありませんが、新園舎候補地の選定、今後想定される施設の改修費用などを総合的に考慮しながら検討を進めていきたいと考えています。
- Q なぜ玉手幼稚園での認定こども園化はできないの？
- A 幼保連携型認定こども園に関する施設・設備等の基準があり、玉手幼稚園では、例えば調理室がない、部屋数が足りないなどの理由により基準を満たせないため認定こども園化はできません。
- Q 令和3年度の年長児(5歳児)のみ環境を変えることなく玉手幼稚園に通うことはできないの？
- A 幼稚園児の小規模化によって手厚い保育になるなどのメリットもあると思うが、教育上望ましい集団活動が実施できる環境として教育委員会が定めた「1学級15名」という基準があり、公立幼稚園は小規模での運営を想定していたものではなく、結果的に少人数になっているというのが現状です。そのため、現在の予定では、円明保育所が認定こども園になる令和3年4月をもって玉手幼稚園は廃園とする予定です。
- Q 円明保育所は園庭が狭いと思うが、運動会などは開催できるのか？
- A 現在でも検討課題ではありますが、定員が増えることにより、近隣施設に余裕があればご協力いただき代替地として活用するなど検討を続けていきたいと考えています。
- Q (仮称) たまた認定こども園での0歳児保育や1号認定の3年保育の予定は？
- A 現在のところ、2・3号認定については、円明保育所と同内容での保育(1歳半～)を想定しています。1号認定の3年保育については、今後の保育ニーズと認定こども園の収容能力を踏まえ、検討を進めます。

(お問い合わせ) 柏原市こども政策課

☎ : 072-943-4811 FAX : 072-973-3782

✉ : kodomoseisaku@city.kashiwara.lg.jp